

第五回全日本仏教徒会議

東大寺大会報告

才五回全日本仏教徒會議東大寺大会は極めて盛況裡に幕を閉じた。本大会を開催するに際しては東大寺当局の好意と尽力はけだし筆舌に尽し難いものがある。筒井管長親下を始め全山給出動のもと、永い準備に万全を期し愈々開会となるや昼夜を通じての努力と心尽しは誠に感激そのものであった。今回の大会が無事に円了した事の最大の力は東大寺当局の好意の賜と衷心から感謝して居る次第である。

この為事務当局又全日仏切替えの過度期に処して協力一致始終始末くその責を尽し、資料の整備に、運営の實際に、宿舎の配当に殆んど徹夜の努力を捧げたものである。今静かに省みて感無量のものがある。全国代表諸氏の意志を尊重し左に會議の概要を記して全国仏教徒諸氏への報告とする。冀くは明年の大会はより一層盛況に、且内容充実して行われん事を急願して謹んでこの報告を送るものである。

東大寺大会日程

才一日(九月十三日)

午前十時 開会式

一同着席
一 同 着 席
導 師 参 入 衆
奏 師 参 入 衆

開式のことば

三遍依文同誦

全仏代表挨拶

開催宗派代表挨拶

(筒井管長親下)



第五回全日本佛敎徒會議東大寺大會會場

來賓 祝 辭
(バキスタン大使
知事市長その他)
仏教聖歌斉唱
(大谷大合唱団)
閉式のことば

才二日(十四日)
午前九時より 各部会
午後三時

各部会別登録
閉会のことば

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

才一號

議案

案

最近の道德教育提唱に關連して
仏教界は之に對し方針、態度を
明にすると共に之が有力なる調
査研究機關を設置せられたい。

代表挨拶

議事運営方針の説明

全一仏教運動一ヶ

年の歩み(全仏報告)

議案上提、説明

一般 討 議

各部会別登録

閉会のことば

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

各部会報告

(狩野 獲麟)

才二號

新興宗教殊にその中直接社会に
悪影響を及ぼすものに対して
は、全仏教界一丸となつて之が
対策研究の方策を建てよ。
(仏教同志クラブ 山中竜潤)

才三號

平和運動、特に原水爆禁止の運
動を仏教徒として一層強力に推
進しよう。(日蓮宗、近代仏教
研究会、日本山妙法寺)

才四號

仏教徒としての社会対策を樹立
し実践するための社会専門委員
会を設置し特に社会保障、新興
宗教問題、人権問題等について
至急対策を樹立されたい。
(近代仏教研究会)

才五號

現行憲法の平和的、民主的思想
を仏教徒の立場から擁護し、こ
の徹底をはかるため強力的な運動
を展開しよう。
(近代仏教研究会)

才六號

釈尊成道会を期して仏教寺院又
は仏教諸団体が協力して毎年生
活困窮者のために助け合う運動
を展開しよう。
(聖観音宗 塩入亮達)

才七號

日本仏教徒は合掌をもつて相互
の敬礼としよう。
(国柱会 田中香浦)

才八號

仏教の真義徹底をはかるため「
仏」という語の使用の厳密を期
そう。(長野県仏 高坂空来)

才九號

各宗派の仏教婦人連盟への協力
を促進しよう。(関東仏婦連盟)
才十號
国際仏教行事に際し特に婦人部
門を認め之に對する積極的協力
を要請しよう。

(全日本仏婦連盟)

才十一號

仏青運動の強化推進を図るため
全日仏内に「青年婦人研究委員
会」仮称、を常設されたい。
(仏教同志クラブ 提 敏郎)

才十二號

財団法人設立に伴い全日仏今後
の財政を強固にしよう。
(仏教同志クラブ 小松雄道)

才十三號

仏教徒の立場から軍事基地拡張
反対運動を推進し、国民の世論
を喚起しよう。
(日本山妙法寺 丸山行遠)

才十四號

南北仏教交流の具体的方策を全
日仏に於て速に樹立し之が活動
を展開せられたい。
(法華宗真門流 矢放日城)

才十五號

セイロン国における舍利仏、目
蓮兩尊者の聖骨堂建立に日本仏
教徒をあげて協力しよう。
(孝道教団 岡野貴美子)

才十六號

英文仏教百科辞典編集完遂のた
め更に一層の協力をしよう。
(本 部)

才十七號

中国、朝鮮、モンゴル等の国
交未回復の仏教徒とも親善交流
を促進しよう。
(近代仏教研究会)

才十八號

仏教を通じての国際親善運動興
隆方策としての仏教英語普及運
動を推進しよう。
(ヤングイースト社 村野宣忠)

才十九號

東南アジア各国との親善促進の
ため国際仏教徒會議を日本に於
て開催しよう。
(仏教同志クラブ 提 敏郎)

才二十號

東南アジア派遣技術者養成所を

設立しよう。(中島貫道)

才二十一号 南北仏教徒を結ぶ共通仏教聖典の編纂を実現しよう。(中島貫道)

才二十二号

新時代仏教徒を養成する仏教文化会館を設立しよう。(中島貫道)

才二十三号

全一仏教運動推進の母体たる地方組織の強化をはかろう。(宮城県連盟)

○緊急提案(才一日目)

1 本大会の名に於て近く国連会議に出発する藤山外相に激励電報を送り更に国連に於て原水爆禁止、軍備縮少の提案をされるよう要望しよう。(日蓮宗、近代仏研)

2 ビルマ上座部仏教の研究を推進しよう。

3 僧侶のお通夜の時の飲酒を禁止しよう。(以上東京中山理々)

4 全一仏教運動推進のため自由仏教徒の結集を促進しよう。(同志クラブ狩野獲麟)

5 墓地問題に於て参加各代表の特別懇談会を開き、全日仏は速に之が推進を実行に移されたし(宮城県連盟)

○緊急提案(才三日目)

一、明年南方仏紀二千五百年祭典に協賛して日本に於ても式典をあげよう。(提案者 東京重永潜)

一、明年度の才六回仏教徒会議を東京に於て開催されたい。(新義真言宗閉尚道)

宣言

仏法の流布すること二千五百年、今や世界平和の危機と万人が疾苦する生活に直面して、愈々その教理信条の実現が要望せらるる、

に至つた。

而も深遠にして広大なる仏陀の教法も、大は徹底せる平和世界の實現に資し、小は一人一心のあますことなき指針となり救済とならねば、その存在は空無に帰するであらう。

まことにわれらはこの教法を世のあらゆるところに味い示すことに於て人間としての生きる意義と喜びにめざめる。

才五回全日本仏教徒会議東大寺大会は、この事実を深く省察して当面する内外の諸問題を討議考究し、現代が要請する重要課題の一端々に応えるべきことを確認し、更に新たな決意をもつて、一層その使命の達成に精進せんことを誓うものである。

決議

一、われらはよく仏教思想の真髓を把握し、全宗門、全地区組織、その他の諸団体一致してその使命を達成せんことを期する。

一、われらはこの教法によつて、原水爆禁止、軍縮協定実現等による世界平和を推進し、以て協調階和、万邦一如の理想を招来せんことを期する。

一、われらは、この教法の向うところ、現に一人の迷ひ苦しむものなからしめ、万人和光の道に達せんことを期する。

右決議する

昭和三十三年九月十五日

才五回全日本仏教徒会議

東大寺 大会

○議事運営委員会

本大会の中心をなす議事運営委員の選出には仲々の慎重を期し本

部に於て局内会議、常務理事会等の各機関にて夫々充分討議せられた末概ね候補者の詮衡を行いその後大会才一日の日程中議長団の推薦が終りその代表として長岡東京仏教団理事長が挨拶された後議長団より左記各氏を夫々指名推薦、満場一致をもつて決定された。

記

石川存静(日蓮)

栗本俊道(東京仏教団)

木船金能(智洞)

高橋照空(智山)

橋本執事(東大寺)

東西本願寺代表

河田行詠(奈良県仏)

向これより先九月十二日午後二時東大寺本坊に於て議事準備会議を開き本大会の議事構成、議事の方針その他には具体的に詳細なる打合協議会を開いて充分なる準備を行つた。

○議長団

日程才一日に於て満場一致指名推薦の結果決定し、本大会を通じて終始真剣且誠意益々、議長として議長団を構成した方々は左の通りである。

田丸道忍(本派)

宮谷法舎(大派)

西沢浩仙(曹)

西川景文(日蓮)

香月善祐(浄本)

長岡慶信(東京仏教団)

橋村英祐(東大寺)

山本 杉(全国仏協)

○各部部长及び副部长

才一部会 仏教界内部問題

才二部会 社会問題

才三部会 国際問題

右の各部会を夫々指導しつゝ才二日三日の日程中終始熱心に各提案を夫々上提しつゝ各代表の發言を充分に行わせ乍ら概ね議運の方針

各部会報告

へ誘導し才三日目には各部部长報告を行つた努力には誠に敬意を捧げるものである。その氏名の通り

才一部会 ○印部会長

○山田露林、柏木観玄、牧野ます

才一部会 (仏教界内諸問題)

本部会は九月十四日午前九時より午後二時まで総会場に於て約一五〇名参加、部会長山田露林(曹)副部会長柏木観玄(高野)、牧野ます(仏協)各氏により終始熱心に討議研究された。

才三号議案 本案は才三部会より才二へ、次いで才一部会へ廻附されたもので各部会でも夫々熱心に討議されたものを更に才一部会で討議された。従来は才一部会が原水爆禁止運動へのかけ声だけの弱点を鋭く衝く意見が力強く呼ばれ、日蓮宗、日本山妙法等、近代仏研の実蹟発表に傾聴しかつて今後仏教徒は各宗各派僧俗をのり越え、凡ゆる機会、場所を活用してこの運動の徹底化により一層努力推進しようとする事採決された。詳細具体的決議は才三部会にゆずる。

才六号議案 東京浅草寺で成道会に行つて居る助け合運動の実績を報告しつゝ之を全国運動にまで拡充したいと云う説明に対して一同之に賛同し成る可く広く全国的に之を流して之が実践を促進する必要があるとの結論に達した。

才七号議案 主旨誠に結構でかくあらねばならぬ、仏教徒であり乍ら仲々実行困難な面もある。従つて今後吾々は相互に出来る限りこの提案の主旨を生かし自ら実行を共に各方

才二部会 ○貝山宣泰、小川幽慎、米山久、赤松常子

才三部会 ○伊藤述史、中山理々、川島貞子

面に働きかけるよう努力しよう云うことになつた。

才九号議案 今後各宗派婦人会責任者及び各宗代表の各位の充分なる理解と協力のもと全日仏婦人連盟の強化拡充のため、より一層の協力を願いたいとの提案者の發言に対して一同之を諒として採決された。

才十一号議案 提案者及び猪俣氏より全日仏殊に幹部が更に仏教界に對する強い関心と育成に重点を指向して欲しいとの發言があり之に對して長井副会長その他より従来は仏教界の對象乃至幹部がとかく世の批判の對象になる様な人が多かつた事を指摘し、先づ仏教界の信用を高める様自粛自誠をなすべきであるとの發言あり。又之に對する反論等あつて仲々盛況であつたが、新全仏内に何らか適當な形で仏教育成の機軸と予算とをもつべきであると

の結論に達した。

才十二号議案 財団法人とは財政的基礎が確立して社会的信用を得るに値する法人と云う意味である。仏教會従来在り方を省みるとこの点仲々遺憾な点が多かつたのではないか。之には色々の原因もあるが、今回再出發したのだから、事務当局も亦充分信頼される様努力すると共に全国加盟宗派、団体はもつと積極的に負担金を納入するは勿論、それ以外の費用までも援助出来る